資料１－３

やってみない？
健康・ケア教室

桑名市における「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、

「オール桑名」で一歩一歩着実に取り組みましょう。

医療･介護等の事業所の方へ

「健康・ケア教室」を開催してみませんか？

地域の方が、気軽に相談したり、立ち寄れたりするような「健康・ケア教室」を開催してみませんか。この教室は介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスＢとして位置付けられます。

教室の目的

介護事業所の地域交流スペースや医療機関の空きスペース等において、医療・介護専門職等とボランティアとで協働しながら、下記対象者が相互に交流する機会を提供します。

対象者

・要支援者
・「基本チェックリスト」該当者を含む一般高齢者

利用者負担

・実費

助成基準

・１回１時間以上かつ週１回以上の開催
・月間３０人以上の参加
・医療機関又は介護事業所に配置された専門職の兼任、及び高齢者サポーター養成講座、認知症サポーター養成講座等を修了したボランティアによる補助
・医療機関又は介護事業所における地域交流スペースの活用及び地域住民に対する開放
・助成に際しては実績報告などを提出
・月額助成は２０，０００円

「健康・ケア教室」の一例

◇養護老人ホームで談話室を開放し、週１回認知症予防のための「脳の健康教室」を開催。

◇訪問看護ステーションで毎週木曜日、看護師等の専門職による血圧測定等の健康相談を無料で実施。

≪お問い合わせ・申込み先≫
地域介護課 サービス推進室
桑名市中央町２丁目３７番地（市役所１階）
電話　（0594）－24－1186
FAX　（0594）－27－3273

このチラシについて詳しく説明します。

対象者は？？

- 要支援認定者
- チェックリスト該当者
- 一般高齢者

他のところは
一体、
どんなことを
やってるんだろう
・・・？

【参考】事業所の地域開放
－大和地区の「ふるさとの里」－

○　介護予防に資するよう、多様な通いの場を創出することは、重要

○　平成24年3月に開設された
小規模多機能型居宅介護等を提供する事業所において、
地域住民に対し、地域交流の機会を提供。

①　平成24年3月以降、年2回、「餅つき大会」を開催。

②　平成24年4月、誰でも利用可能な喫茶「わか菜」を開設。

ⅰ　血圧計及び血圧ノートを設置。

ⅱ　勉強会「血圧について」を開催。

③　平成26年7月以降、ボランティアの協力を得て、
多目的ホール「みんなのへや」を活用した
「集いの場サロン」を開催。

（注）平成26年7月～平成27年3月の間、37回にわたり、
延べ160名の参加を得て、籠づくり、折り鶴等の手芸や談話を実施。

平成26年10月15日
勉強会「血圧について」

平成26年10月28日
「集いの場サロン」

【参考】医療機関の地域開放
ー七和地区の坂井橋クリニック「健康ケアサロン」ー

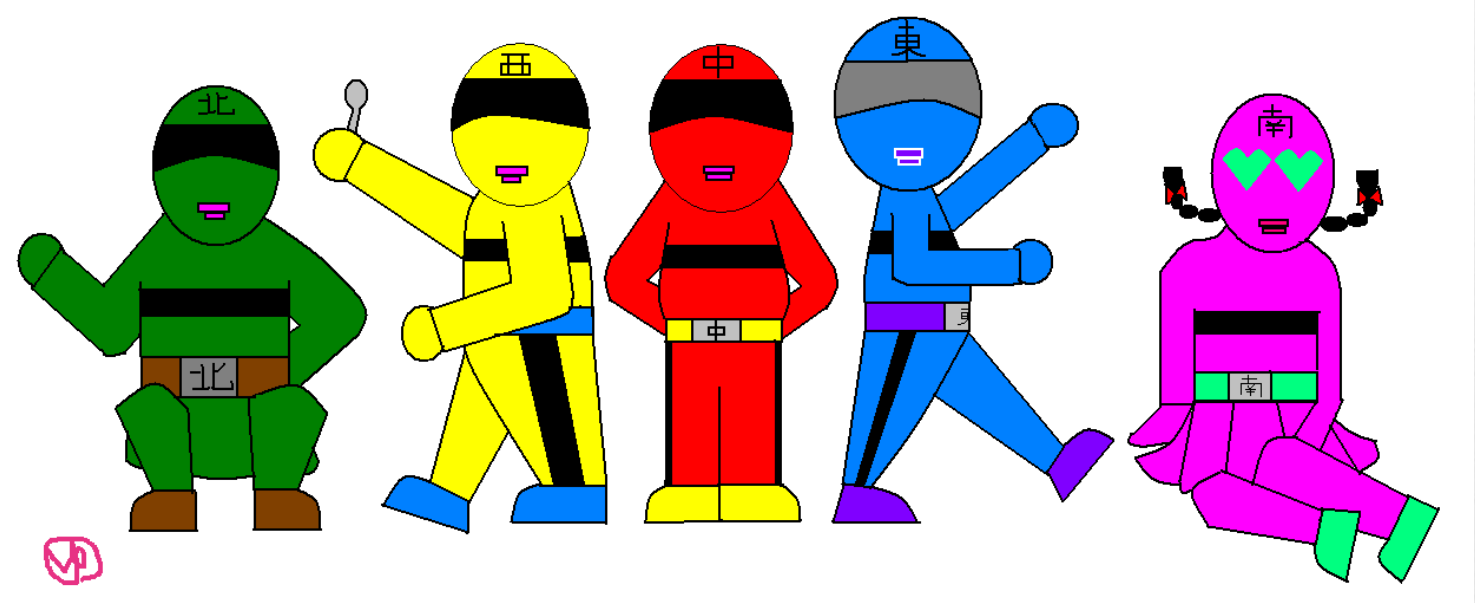
○　医療機関の地域開放をきっかけに地域住民と協働し多様な通いの場を創出することは、重要

平成27年9月10日「健康ケアサロン」

○　坂井橋クリニックスタッフより、西部地域包括支援センターへ地域貢献について相談があり、「健康・ケア教室」を紹介したことで、開催につながった。

○　平成27年5月から始まり、月2回、第2，4木曜日に坂井橋クリニックリハビリ室において、地域住民に対し、「健康・ケア教室」を開催。ボランティアや職員の協力を得て、健康に関わる様々な内容で実施されている。（開催内容：健康体操、健康ヨガ、音楽療法、創作活動等）

次はわれわれが、健康・ケア教室を開くメリットについて、説明するぞ！



メリット

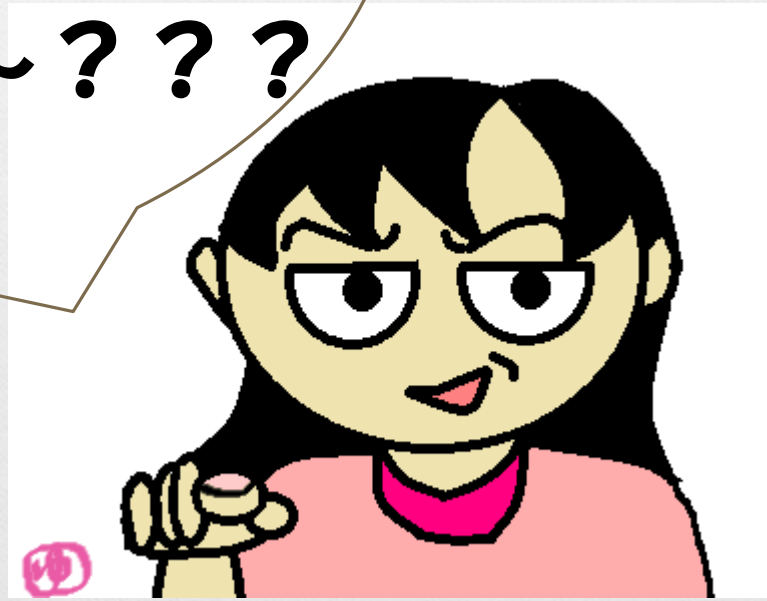
1．空き部屋の活用

2．月額２０，０００円の助成

※但し、１回１時間以上、かつ週１回以上の開催。
月間３０人以上の参加が必要です。
（今年度は月間２０人以上でＯＫ）

3．地域の住民の方との繋がり

またまた
うまいこと言って・・・
そんなメリット
ばっかり
じゃないでしょ～？？？



デメリット

1．人員の確保

→介護支援ボランティア制度の活用など社会福祉協議会や市役所にご相談ください。

2．週１回以上の開催

→助成の対象にはなりませんが、月に１、２回の開催でも「健康・ケア教室」として登録できます。